

平成 2 8 年度第 1 5 回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	平成 2 9 年 1 月 1 1 日（水）	午前 9 時
場	所	八王子市役所 議会棟 4 階	第 3 ・ 第 4 委員会室

第 1 5 回定例会議事日程

- 1 日 時 平成 2 9 年 1 月 1 1 日 (水) 午前 9 時
- 2 場 所 八王子市役所 議会棟 4 階 第 3 ・ 第 4 委員会室
- 3 会議に付すべき事件
 - 第 1 第 5 1 号議案 八王子市立学校教職員人事の内申に関する事務処理の報告について
 - 第 2 第 5 2 号議案 八王子市立学校教職員の措置等について
- 4 報告事項
 - ・平成 2 8 年度工事監査の結果について (施設管理課)
 - ・平成 2 9 年度八王子市立中学校特別支援学級 (知的障害 ・ 固定制) の抽選結果について (教育支援課)
 - ・平成 2 8 年度東京都教育委員会職員表彰の被表彰者の決定について (教職員課)
 - ・第 2 回 T O K Y O 八峰マウンテントレイルの実施結果について (スポーツ振興課)
 - ・第 6 7 回全関東八王子夢街道駅伝競走大会の申込み状況について (スポーツ振興課)
 - ・平成 2 8 年度「読書感想画」・「読書感想文」各コンクールの実施結果について (図書館部)

その他

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
教育長職務代理者	星 山 麻 木
委 員	村 松 直 和
委 員	柴 田 彩 千 子

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	廣 瀬 勉
学校教育部指導担当部長	山 下 久 也
教 育 総 務 課 長	小 林 順 一
学 校 教 育 政 策 課 長	小 俣 勇 人
学校複合施設整備課長	内 野 茂 樹
施 設 管 理 課 長	松 士 和 広
保 健 給 食 課 長	野 田 明 美
教 育 支 援 課 長	穴 井 由 美 子
指 導 課 長	中 村 東 洋 治
教 職 員 課 長	廣 瀬 和 宏
統 括 指 導 主 事	佐 藤 晴 美
統 括 指 導 主 事	斉 藤 郁 央
生涯学習スポーツ部長兼 国際スポーツ大会推進室長	小 柳 悟
生涯学習政策課長	瀬 尾 和 子
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	坂 口 崇 文
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 課 長	佐 藤 晴 久
学 習 支 援 課 長	新 井 雅 人
文 化 財 課 長	中 正 由 紀
こ ども 科 学 館 長	叶 清
国際スポーツ大会推進室主幹	宮 本 高 一
図 書 館 部 長	伊 比 洋 司
中 央 図 書 館 長	中 村 照 雄
生涯学習センター図書館長	新 堀 信 晃
南 大 沢 図 書 館 長	村 田 浩 三
川 口 図 書 館 長	福 田 秀 之
指 導 課 指 導 主 事	上 野 和 広
施 設 管 理 課 主 査	石 川 暢 人

教育支援課主査	高木健治
教職員課主査	石川智也
教職員課主査	高野公樹
スポーツ振興課主査兼	
国際スポーツ大会推進室主査	伊藤雅佳
生涯学習センター図書館主査	高橋淳子
教育総務課主査	堀川悟
教育総務課主事	廣瀬桃子
教育総務課主事	小山ちはる
教育総務課囑託員	古瀬村温美

【午前9時00分開会】

安間教育長 大変お待たせをいたしました。改めまして、明けましておめでとうございます。本日の出席は4名でありますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

これより平成28年度第15回定例会を開会いたします。

本市では地球温暖化対策、省資源対策の一環として節電等に取り組んでおります。本定例会においても、照明の一部消灯を実施いたしておりますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

本日の議事録署名員の指名をいたします。本日の議事録署名員は、柴田彩千子委員を指名いたします。よろしくをお願いいたします。

さて、本日の議事でございますが、第52号議案については、審議内容が個人情報に及ぶため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項及び第8項の規定によりまして、非公開としたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

安間教育長 それでは、それ以外の日程について進行いたします。

日程第1、第51号議案 八王子市立学校教職員人事の内申に関する事務処理の報告についてを議題に供します。

本案について、教職員課から説明願います。

廣瀬教職員課長 おはようございます。

それでは、第51号議案 八王子市立学校教職員人事の内申に関する事務処理の報告についてでございます。ここで承認していただきたく、お願いいたします。

それでは、説明は主査の石川より御説明申し上げます。

石川教職員課主査 それでは、第51号議案 八王子市立学校教職員人事の内申に関する事務処理の報告について御説明いたします。

市立元八王子小学校、遠山徹副校長が、平成29年3月31日まで休職することに伴い、その後任の配置について、去る12月16日に東京都教育委員会より内報がございました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第38条に基づく人事の内申の期限が12月28日までであったため、教育委員会定例会に上程するいとまがございませんでしたので、八王子市教育委員会の権限委任に関する規則第4条第1項の規定に基づき、教育長において裏面のとおり事務処理をしましたので、同条第2項の規定により報告し、御承認をいただくものでございます。

それでは、議案裏面をご覧ください。平成29年1月1日付で、当時町田市立小山小学校、野場正道主幹教諭を元八王子小学校副校長として任命されるよう、12月26日付で事務処理を行いました。議案関連資料に、野場副校長の経歴を添付させていただきました。なお、1月4日に教育長より辞令伝達をしていただきましたので、あわせて御報告をさせていただきます。

説明は以上です。

安間教育長　　ただいま、教職員課からの説明は終わりました。

本案について、御質疑はございませんか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　それでは御意見は、こちらもよろしゅうございますね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　それではお諮りをいたします。ただいま議題となっております第51号議案については、提案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　御異議ないものと認めます。

よって、第51号議案については、そのように承認することといたしました。

安間教育長　　それでは、報告事項となります。施設管理課から御報告願います。

松土施設管理課長　　それでは、平成28年度工事監査の結果につきまして、御報告させていただきます。

詳細につきましては、石川主査より説明させていただきます。

石川施設管理課主査　　それでは、報告いたします。

本年度の工事監査でございますが、教育委員会の事業、東浅川小学校校舎増築事業が対象となりまして、昨年6月の第4回教育委員会定例会におきまして、実施の

報告をしたところでございます。このたび、監査が終了いたしまして、昨年の12月20日に監査委員のほうから、結果の公表がございましたので、その内容につきまして報告いたします。

では、お手元の資料に基づきまして順に説明させていただきます。

1、監査の概要でございます。

(1) 監査の種類でございます。地方自治法第199条第1項及び第5項の規定に基づく工事監査でございます。こちらは、市が行う工事を対象としておりまして、毎年度実施されるものでございます。

(2) 監査の対象工事等、八王子市立東浅川小学校校舎増築工事及びこれに関連する事務。

(3) 監査の対象部課、事業所管課といたしまして、学校教育部施設管理課のほか、工事所管課、契約事務所管課としまして、市長部局のほうから財務部の建築課と契約課の三課で対応させていただきました。

(4) 監査の実施期間でございます。平成28年5月30日から12月19日まで。

(5) 監査の観点及び方法でございます。契約事務、工事の設計及び施工等が法令等に従って適正かつ効率的に行われているかどうかを主眼に、書類審査、質問調査、実地調査等により実施いたしました。

次に2、対象となった工事の概要を簡単に説明いたします。

(1) 契約金額は、東浅川小学校校舎増築工事の本体工事分としまして、3億2,616万円、(2) 契約日は平成27年12月15日、(3) 工期は平成27年12月16日から平成29年1月31日まで。

(4) 内容は、鉄筋コンクリート造4階建ての校舎の増築、既存校舎の改修工事、用務員倉庫の設置、外構工事となっております。また、(5) 関連工事といたしまして、空調換気設備工事、給排水衛生設備その他工事、電気設備工事、昇降機設備工事の各設備工事も調査の対象となりました。

次に3及び裏面にいきまして4、監査の実施内容及び監査の主な内容を同時に説明いたします。

平成28年9月2日に、当該事業の計画書、設計書、契約書などの書類審査を市

役所本庁で行ったほか、東浅川小学校の現場に行きまして、工事及び施工管理が適切に行われているかの、工事実施調査を行いました。監査の主な項目といたしましては、裏面にごございます各項目、設計にかかる計画、実施設計、積算、契約、工事監理、施工監理・検査と全般的な工事に係る内容となっております。

最後に、監査の結果でございます。結果といたしましては、是正、改善を求める「指摘事項」、指摘事項・改善について検討を求める「意見・要望事項」等、ともにごございませんでした。監査の結果報告書に記載されている内容を最後に載せておりますけれども、結果報告書の中では、「工事時点における書類審査及び工事実地調査の結果は、おおむね良好であると認められた。今後も、工事完成に向けて、より一層の安全管理及び工程管理に徹底を期されたい。」ということが、書かれておりました。

工事につきましては、現在、内装工事が完了し、外構工事等最終の工程に入っております。1月31日の完了に向け、順調に進捗しておりまして、引き続き、4月の供用開始に向け安全管理を徹底し、準備を進めてまいります。

説明は以上でございます。

安間教育長　　ただいま、施設管理課からの報告は終わりました。

本件について、御質疑はございませんか。

村松委員　　皆様、おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

5の監査の結果なのですが、あれだけ大きい建物なので色々な監査項目があると思うのですが、結果報告書の内容はこの2行だけですよね。もっとそれだけの建物の中で、指摘や意見・要望事項が全くないというのも、どうなのかと思いますけれども。

石川施設管理課主査　　本日お配りしている資料は監査結果報告書の要点をまとめたものでありますが、監査の結果、結論につきましては、指摘事項・意見・要望事項は「なし」ということでございます。

村松委員　　わかりました。今、内装工事をやってらっしゃるというふうにおっしゃっていましたが、一応工期が1月の末日というふうになっていましたので、それは遵守されるということで大丈夫ですか。工期内に。

石川施設管理課主査　　工期末は1月31日になるんですけれども、工期中に全ての工

程を完了するように順調に進捗しております。

村松委員 児童も通学していますし、車の出入りもあると思いますので、ぜひ安全管理を引き続き徹底していただいて、工事を完了していただきたいと思います。

以上です。

安間教育長 ほかに、御質疑ございませんか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、続きまして、教育支援課から報告をお願いしたいと思います。

穴井教育支援課長 それでは、先日実施をしました平成29年度八王子市立中学校特別支援学級（知的障害・固定制）の抽選結果について、御報告をいたします。

詳細については、高木主査から御説明します。

高木教育支援課主査 平成29年度八王子市立中学校特別支援学級の抽選につきまして、御報告いたします。

平成28年12月10日、土曜日に、教育センターの第三研修室におきまして、抽選会を実施いたしました。当日は、9世帯の方が参加され、会場には保護者とともに児童の方が一緒に参加される世帯もございました。抽選に対しましては、松木中学校、第二中学校、打越中学校の校長先生に立会人として、抽選棒の番号の確認を行っていただきました。

抽選につきましては、当初の予定どおり変更はございません。受入予定者数12名、入級希望者が15名で、そのうち抽選除外者が1名で、抽選対象者が14名。当選者を11名として抽選を実施いたしました。なお、当選されなかった3名を含む抽選対象者全員に、あらかじめ抽選に漏れた場合の入級先を検討していただいていることで、当選されなかった3名につきましては、早期に入級を決定させることができました。

以上となります。

安間教育長 ただいま、教育支援課からの報告は終わりました。

本件について、御質疑はございませんか。

村松委員 12月10日に抽選で、これは、いつ抽選になるということがわかったんですか。

高木教育支援課主査 9月30日に、保護者の説明会で報告をいたしました。その際

に、三中につきましては定員をオーバーしたということで、報告をいたしました。

村松委員 教育委員のお二人にお尋ねしたいのですけれども、この件に関して12月10日の抽選のことは、報告を受けていますか。檜原中、五中の抽選というのを聞いていますけれども、この三中の抽選について私は報告を受けてないのですけれども、お二人は報告を受けていますか。

穴井教育支援課長 五中と檜原中の抽選のときに、あわせて定例会にかけさせていただいています。

安間教育長 当時の議事録等は、今、すぐに出ますか。

村松委員 私の確認不足だったかもしれませんが、ただ、これは12月10日の日に抽選で、12月14日に定例会があったので、これは私、すぐに報告を受けてもよかったと思うのですけれども。

穴井教育支援課長 12月10日の抽選で、すぐ後、定例会ございましたが、下に書いてございますように、落選した者の行き先が決まってから報告をしたほうがよろしいかと思いましたので、1月の報告になっております。

村松委員 おっしゃることは分かりますが、選択制の話が出ていたので、その時に報告をしていただきたいというのは、私の思いです。実際、落選している子もいるので、それを早期にこちらに報告していただかなければと。この抽選結果の報告書を見ましても、誰がどこに行ったのかとか、私、全くこれだけでは分からないので、これも書き直してまた提出していただきたいのですけれども。

穴井教育支援課長 どなたがというお名前については個人情報になりますので、公開ではお出しできません。後で、詳細が知りたいということであれば、御報告を教育委員にさせていただきます。

村松委員 もちろん、この場で個人情報を出してくださいなんて言っていません。この資料に添付して教育委員には出してしかるべきだと思うのですけれども。実際に落選しているお子さんがいらっしゃるの、それは先に資料を提出してもらって、判断させていただきたいです。

安間教育長 今、村松委員もおっしゃったように、この定例会の報告事項としてという話じゃなくて、細かな情報についてはやはり教育委員にいろんな場面で、問い合わせがある場面もございますから、知っておかなければいけないような情報は、こ

れからもきめ細やかに伝えるようにしていただければと思います。

あと、定例会での議事内容については、今、調べさせていただくので、お時間をいただきます。

ほかに御質疑はございませんか。

星山委員　今の御質問もそうだと思うのですが、以前ありました抽選についても、願いとしては子どもたちがその学校に行きたいなと思ったところに入れてあげたいという気持ちがあるのだと思うのですが、ここの中学校の知的障害・固定制の学級に人気があったと言いますか、定員をオーバーして応募があったので、そのあたりは理由としてはどのあたりがあるのかなというところと、何となく3人であったら入れてあげられるのかなという気もするのですが、その辺の御事情もあるのかなと思うので、そのあたり、御説明いただけるとありがたいです。

穴井教育支援課長　昨年度は打越中学校に集中したんですね。八王子市では、特別支援教育推進計画をつくりまして、特別支援学級の固定級については地域のお子様地域内の学校に行けるようにということで、増設を行ってまいりました。学校の説明会においても、居住しているところから近い学校を選んでいただいたほうが、例えば、3.11の震災があったように、歩いて帰れる距離のところをお選びくださいということで、御案内はしているところです。

ただ、特別支援学級についてどうして学区制をつくらないかという、やはり入っているお子様たちの障害の状況が、毎年、年ごとに変わっていきます。そうした中で、お母様、保護者の方の御意見としては、やはり自分のお子様の障害の程度に合っている、そういった学校を選びたいというお気持ちもありますので、選択ができる仕組みにはしているところです。

多分、第三中学校に今回集中したというのは、第三中学校においては建て替えもありますので、仮設校舎に途中で移動しなければいけないというようなりすくについても説明をしたのですが、どうしてもというお声があったので、ちょっとどうしてなのかなというのはわかりかねるところがあるのですが、私たちが想像するに、昨年度、打越中学校がいっぱいだったので、打越中学校は避けたんですね。そうした中で、ある程度の規模があって駅から近いところを選ばれたのかなというふうには思っているところです。

私どものほうでも、例えば、第一中学校に特別支援学級をつくったときに、どうして一中につくったかという、やはり地域の声として、小宮とか高倉とか、あちらの地域の方たちが打越や三中あるいは由井中に行かなければいけないということで、かなり遠いということで市民の皆様、あるいは議員からもっと近くにつくってほしいということで、第一中学校に特別支援学級をつくったのですけれども、今回、その地区の方々が第三中学校をかなり希望されています。そうした原因の一つとしては、やはり第一中学校につくってまだ年数が浅いことから、なかなかその第一中学校の良さというのが伝わりきれていなかったのかなということで、校長先生には各小学校を回って説明をしていただいたのですが、それでかなり手応えはありましたので、来年度以降は少し修正ができてくるのかなというふうには思っています。

星山委員　　3人はどうしても受け入れられない事情があるのですか。

穴井教育支援課長　　3人については、どうしてもハード的なもので、今、第三中学校は4学級まで拡大して受け入れているところなのです。これから建て替え計画もある中では、4学級が施設的には精いっぱいというところなので、受け入れられませんでした。

安間教育長　　ほかに御質疑等はございますでしょうか。

柴田委員　　今年度から教育委員に就任しましたので、ちょっと事情がわからないところがあるので、教えていただきたいのですけれども、先ほど個々の生徒さんの障害の状況に合わせて、毎年、人気校となるところが変動するというふうに伺ったのですけれども、ということは、各学校、公立中の特別支援学級それぞれ特色があるのですか。こういう障害に強い先生がいるとか、こういうケアが充実しているというような特色があるということというふうに理解してよろしいのでしょうか。

穴井教育支援課長　　特色というか、どこの学級も本当に丁寧にきちんとやっているもので、それぞれ評価されるところがあるのですが、どうしても3年間在籍している中で、とても重度なお子さんが在籍する場合ですとか、あとは、かなり動きの激しいお子様が在籍しているとか、見学に行ったときにやはり自分の子どもに合ったような、同じような障害の子がいるところがいいというお母様もいれば、少し静かな環境のほうがいいというお母様もいる。あるいは、お友達環境の中で伸びるというお子様については、割とニーズが多い中でも落ちついている学級とか、その子その子

によってニーズが違って、その年の在籍者によって学校の様子も変わってくるので、学校ごとに特色があるということではないです。

柴田委員　　今、伺いましたお話から考えますと、特に特色があるというわけではなくて、そこに入られたお子さんの状況に合わせて柔軟に、どこの学校に行っても対応できるという、措置がしっかり整っているというふうに理解してよろしいですか。

穴井教育支援課長　　はい。

安間教育長　　よろしゅうございますか。

小林教育総務課長　　先ほどの資料につきましては、ただいま調べておりますので、また、定例会の中で御報告させていただきます。

安間教育長　　それでは本件についての報告、承るということでよろしゅうございましょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　それでは、続きまして、教職員課から報告をお願いします。

廣瀬教職員課長　　それでは、報告事項でございます。

平成28年度東京都教育委員会職員表彰の被表彰者の決定についてでございます。報告につきましては、高野主査より御説明申し上げます。

高野教職員主査　　それでは、平成28年度東京都教育委員会職員表彰の被表彰者の決定について、御報告させていただきます。

平成28年12月22日に、東京都教育委員会で職員表彰の被表彰者が発表されました。資料をご覧ください。

被表彰者に決定した者は、八王子市教育委員会から推薦いたしました、(1)館中学校校長、齋藤博志、功績の内容は学校経営です。こちらは、管理職としての表彰となります。

続きまして、管理職を除く45歳以上の教員として、(2)松が谷小学校主任教諭、山本雅美、功績の内容は特別支援教育の推進です。

続いて、45歳未満の教員として、(3)松が谷中学校主任教諭、池水美由紀、功績の内容はオリンピック・パラリンピック教育の推進、及び(4)松木中学校主幹教諭、青森一博、功績の内容は教科指導における研究・学力向上の推進です。

続きまして、団体表彰といたしまして横山第二小学校、代表者名、校長、土屋栄

二、功績の内容はオリンピック・パラリンピック教育の推進です。

また、東京都教育委員会から推薦されました第三小学校、校長、吉村潔、功績の内容は学校経営・小中一貫教育の推進でございます。

なお、表彰式は、来月2月9日の午後4時から、都民ホールで開催されます。

報告は以上でございます。

安間教育長　　ただいま、教職員課からの報告は終わりました。

本件について、御質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　おめでたいことということで、よろしゅうございますか。

それでは報告として、承っておきます。

続きまして、スポーツ振興課から、2件報告をお願いいたします。

坂口スポーツ振興課長　　それでは、先月12月23日に開催させていただきました第2回T O K Y O八峰マウンテントレイルの実施結果について、御報告させていただきます。

詳細について、伊藤主査から御説明いたします。

伊藤スポーツ振興課主査　　それでは、私から先月12月23日に開催されました、第2回T O K Y O八峰マウンテントレイルの実施状況について御報告いたします。

大会当日の12月23日は晴天のもと、開催されました。ただ、当日はこの時期にしては考えられないほど気温が高く、また、前日の夜に降った雨の影響が残り、コースコンディションとしては悪い状態でございます。このような状況が選手を苦しめたと思われれます。昨年より完走者が減る結果となりました。大会参加者の状況でございますが、資料をご覧ください。

(3)の実施結果の表のところでございますが、申込者数は昨年より多く897名の応募がございました。当日、実際走られた方は683人でございます。そのうち、完走されました方が592人ございました。トップ選手のゴールタイムは先ほどお話ししたようにコンディションが悪かったせいか、昨年より遅く、男子の選手で3時間28分、女子の選手で4時間32分の時間がかかりました。しかし、逆に最終ランナーのゴールは昨年より早く、男子で7時間32分、女子で7時間19分という時間でございます。

また、資料の裏面でございますが、負傷者の状況でございますけれども、昨年度より少なくとも、今年は2名の方の怪我が発生いたしました。一人の方は転んだときに手のひらを切ってしまう裂傷、もう一人の方は、体調不良が途中で起こってしまい、動悸や震えなどが発生し自力で歩けない状態というような2名の負傷者が発生しました。手のひらを切られた方につきましては、事務局職員が休日当番医であります病院のほうへ搬送いたしまして、その場で治療をし、そのまま御自宅へ御帰宅されました。また、動悸・震え・自立歩行が不可能になられた方につきましては、大会スタッフとし参加をされておりましたメディカルランナーの方に救助をいただき、ゴール地点の救護所まで搬送していただいて休憩をとられた後、回復いたしましたのでこちらの方も自力での帰宅となっております。

なお、大会コンセプトの一つであります自然公園利用ルールに基づく大会運営といたしましては、自然環境と利用者の視点、2点についてモニタリングを実施しております。現在モニタリングについては、担当しました機関の方で取りまとめ中でございますので、まだこちらには結果が入っておりません。ただ、1月末ぐらいまでには東京都に報告できるよう、作業を進めているところでございます。

さらに、資料を進んでいただきまして、3ページ目になります。参加者の方の御意見としてアンケート調査をとり、情報を収集しております。およそ半数の方が、自然公園利用ルールについては、今大会で初めて知った、または、知らなかったという回答をいただいております。従いまして、この大会のコンセプトであります自然公園利用ルールの周知という点では、意義があったものかと思われれます。また一方で、回答者の9割以上の方が、来年も参加したいと回答いただきましたので、大会自体は大変好評をいただいたものと考えております。

説明は以上でございます。

安間教育長　　ただいま報告が終わりました。

本件について御質疑はございませんか。

これは、申し込んだ方は全員参加できるわけですね。抽選があるんですか。

伊藤スポーツ振興課主査　　900名の定員で御紹介しましたところ、今回は900名を超えるちょっと手前、897で申し込みが終わりまりましたので、抽選とか参加漏れというものはございませんでした。

村松委員 昨年は8時15分スタートだったと記憶しています。参加者の方からちょっと時間が早いんじゃないかという意見もあったのですが、今年はその辺は大丈夫だったのでしょうか。

伊藤スポーツ振興課主査 スタート時間についてでございますが、ゴール時間から逆算していきますと、危険を排除するために暗くなる前にゴールしていただくということを逆算いたしますと、やはり8時にスタートしておかないと、最終ランナーが暗くなってしまうという危険性がございます。昨年は、スタート地点への輸送の部分で、うまくいかなかったのが、8時15分のスタートになりましたけれども、今年高尾駅からスタート地点までに輸送のうまくいかなかった部分を改善しまして、順調に選手の方はスタート時間に間に合うように集合いただけましたので、8時スタートで今年は開催いたしました。

村松委員 ありがとうございます。多分皆さん、周知がされていたから混乱もなかったと思うのですが、その他の意見でも「一部迷いやすい場所があった」「コースにスタッフが多く、道に迷わなかった」両方の御意見があるのですが、昨年、ボランティアのスタッフの方は183名で、今年は155名になっているんですね。これ、かなり減って、その辺で迷いやすい場所があったとか、何かそういうことにつながっているのかなと思うのですが、ボランティア自体は、これは東京都でかけているんですか、八王子ですか。

伊藤スポーツ振興課主査 ボランティアにつきましては、実行委員会を構成します地域の町会、スポーツクラブ、また、他にもトレイルランニングやトライアスロンなどを実施している競技団体の方々に、実行委員会として入っていただいております。この実行委員会の中の参加をされている方々にボランティアとしてコースにスタッフとして配置してございます。

人数のお話でございますが、今年も5月ごろに実行委員会のコーススタッフとなる団体の代表の方に実際歩いていただいて、スタッフの配置場所を確認していただきました。その結果、昨年よりは少なくても大丈夫だろうという結果でございましたので、今年も昨年より若干減らしまして155名の体制で実施したところでございます。

村松委員 今年も、高尾山駅の温泉の割引券みたいなものを配るなどのアフターケア

みたいなことはどうされたのでしょうか。

伊藤スポーツ振興課主査　　ゴール後の選手のケアですが、今年も温泉につきましては、京王電鉄グループさんの御協力をいただきまして、参加者に割引券を参加賞として配付させていただいております。ただ、2月末まで利用券が使えますので、集計はもう少し経ってからのほうがいいのかと思ひまして、京王電鉄グループさんにはまだ問い合わせはしてないところでございます。

そのほか、ゴール地点には、昨年よりも多くのスポンサーの出店をいただけたので、飲み物、食べ物の出店をさせていただいたところでございます。

安間教育長　　ほかに何か御質疑はございますか。

星山委員　　このアンケートを読ませていただくと、前泊していらっしゃる方が結構いらっしゃるの、大体で結構なのですけれど、どのあたりから御参加なのでしょう、皆さん遠いところから御参加いただいているのでしょうかということと、そのこともありまして、このマウンテントレイル自体の目的と言いますか、やはり八王子の魅力であるとか、スポーツの魅力であるとか、いろんなことを目的としていらしたと思うのですが、そのあたりのことは、目的を達成できたかというあたりについて、伺えればと思います。

伊藤スポーツ振興課主査　　参加者のお住まいの地域ですけれども、北は北海道、南は福岡から御参加をいただきました。当日、受付けをしておりますので、申し込みはいただいたのですが、本当に走られたかどうかまでは、確認がとれてないところでございます。ただ、たまたま私が宿泊施設に用事があり寄ったところ、宿泊施設の方からお話を直接聞いた中では、岩手の方は当日御参加をいただいているという情報を耳にしております。

もう一点、マウンテントレイルの目的でございますが、委員のおっしゃいますとおり、八王子の魅力の発信、それと先ほども申し上げましたが、東京都自然公園利用ルールの周知徹底というところでございます。自然公園の利用ルール周知徹底につきましては、至るところで周知徹底を図っておりますが、先ほど申し上げましたように半数の方がまだ知らなかったということですので、これからも周知を続けなければいけないのかなという思いはございます。また、八王子の魅力発信という点では、地元企業になるべくスポンサーという形で御協力をいただいと考へており、

大会当日の出店などの御協力をお願いしているところでございます。

今年は、高尾山口駅前にございます和菓子屋さんから商品の提供をいただきまして、八王子にはこういうお店がありますよ、こういう商品を扱っていますよということを、入賞者の方に商品としてお渡しするということことができました。また、ゴール地点の目の前にありますチェーン店のコンビニエンスストアからも御協力をいただいて、選手のゴール後の飲み物・食べ物の御協力というところもいただいております。なるべく地元を盛り上げるようにということで、地元の企業にお声がけをさせていただいているところでございます。

安間教育長　ほかに何か、御質疑はございますか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　それでは、報告として承っておきます。

続いて、スポーツ振興課から御報告をお願いいたします。

坂口スポーツ振興課長　続きまして、来月2月12日に開催させていただきます第67回全関東八王子夢街道駅伝競走大会の申し込み状況について、御報告させていただきます。

引き続き、詳細につきましてスポーツ振興課の伊藤主査から御説明いたします。

伊藤スポーツ振興課主査　続きまして、第67回全関東八王子夢街道駅伝競走大会の申し込み状況について、御報告させていただきます。

今年から大学女子の部を新設いたしまして、全部で8部門の募集いたしました。また、今年は折からの経費増大に対応するため、参加料の値上げも行いましたので、参加チーム数が減ってしまうのではないかと心配していたところでございますが、ほぼ前年同様の、全部で540チーム、総勢約2,200名の方の御応募をいただきました。

参加チームの中には、招待チームといたしまして、箱根駅伝に出場し総合8位入賞した法政大学をはじめ、帝京大学、創価大学、拓殖大学といった市内の各大学、また、日本体育大学、明治大学、国土館大学、及び全日本大学女子駅伝に出場された日本体育大学、東京農業大学にもエントリーをいただいております。

さらには特別招待チームとして、今年は市制100周年を迎えますので、市制100周年を記念し昨年姉妹都市の締結をいたしました小田原市寄居町を含め、三市

一町の姉妹都市にもお声がけをしたところ、日光市より中学生女子チームの御参加をいただけることとなりました。また、全国中学校駅伝大会に東京都代表として出場される足立区立第一中学校の男子チーム、目黒区立東山中学校の女子チームにも御参加いただけることとなっております。

以上で説明を終わります。

安間教育長 　　ただいま報告は終わりました。

本件について御質疑はございませんか。いかがでしょうか。申込み状況ということで、よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 　　それでは報告として承らせていただきます。

それでは続きまして、図書館部から報告をお願いいたします。

新堀生涯学習センター図書館長 　　それでは、平成28年度「読書感想画」・「読書感想文」各コンクールの実施結果につきまして、御報告いたします。

詳細につきましては、高橋主査から御説明いたします。

高橋生涯学習センター図書館主査 　　平成28年度「読書感想画」・「読書感想文」各コンクールの実施結果について、御報告いたします。

1、報告趣旨、平成28年「読書感想画」・「読書感想文」各コンクールの実施に伴い、その結果について報告いたします。読書感想画につきましては第12回、読書感想文につきましては第5回になります。

2、目的、多くの児童・生徒が、読書による感動や印象を絵画及び文章で表現することにより豊かな人間性を育むとともに、読書習慣を身につけてもらうことで「読書のまち八王子」が目指す読書活動の振興を図るために実施いたします。

3、主催、八王子市教育委員会・東京八王子西ロータリークラブで行いました。

4、報告内容、(1)応募期間、平成28年8月25日から9月30日の間に募集をかけました。

(2)応募作品数、読書感想画コンクール1,411作品、昨年度は1,215作品でした。内訳といたしましては、小学校1・2・3年生の部が519作品、小学校4・5・6年生の部が261作品、中学生の部が631作品になります。

読書感想文コンクール、応募総数4,348作品、昨年度は4,183作品でし

た。内訳といたしましては、小学校1・2・3年生の部が1,016作品、小学校4・5・6年生の部が1,721作品、中学生の部が1,611作品でございました。

(3) 審査、読書感想画コンクールでは、図書館職員、小・中学生の専門教師の事前審査を終了した50作品について、12月7日に東京八王子西ロータリークラブ、小・中各校長会、読書のまち八王子推進連絡会議及び指導主事、計12名により最終審査を行い、実施いたしました。

読書感想文コンクール、図書館職員等の事前審査を終了いたしました107作品について、12月15日に東京八王子西ロータリークラブ、小・中各校長会、読書のまち八王子推進連絡会議及び教育委員会部課長選出委員、計8名により最終審査会を実施いたしました。

その他といたしまして、ア、表彰式、平成29年2月4日午後2時より開催予定でございます。場所は、八王子市学園都市センター12階イベントホールで行います。

イ、読書感想画コンクール入賞作品の展示ですが、こちらのほうは海外友好交流都市の台湾高雄市の子どもたちの読書感想画と同時に展示いたします。日時は、平成29年1月25日から27日、こちらは本庁舎1階ロビーで展示いたします。平成29年2月1日から4日につきましては、八王子市学園都市センター11階展示室で展示をいたします。このときに、感想文の入賞作品も一緒に展示を行う予定でございます。この各コンクールの受賞作品は、後日、市ホームページ及び冊子にて公開をする予定です。

備考ですが、応募者全員に参加賞、受賞者全員に図書カードを贈呈いたします。

また、中学校の上位入賞者を海外友好交流都市である台湾高雄市に派遣する予定でございます。

(5) 「読書感想画」・「読書感想文」各コンクールの受賞者でございますが、下記のとおり受賞者決定しております。そちらを御参考いただけたらと思います。

報告は以上です。

安間教育長 ただいま報告は終わりました。

本件について御質疑はございませんか。

村松委員　　今年の感想画コンクール、感想文コンクール、小学校、中学校の学校別の応募数を教えてください。小学校は何校応募してきたとか、中学校は何校応募してきたのか。

新堀生涯学習センター図書館長　　応募数ですが、感想画につきましては、小学校は36校です。中学校につきましては14校。昨年度が、小学校については32校ということで4校増えました。中学校につきましては、昨年度18校ということで4校減っておりますが、応募者数としては増加している状況でございます。

それから、感想文につきましては、小学校は43校、昨年度は46校。中学校は21校、昨年度は23校、こちらも若干応募があった学校数は減っておりますが、応募人数としては増加をされていて、全体としては4%増ということになっております。

村松委員　　小学校、中学校で応募総数は増えていると思うのですが、八王子の子どもたちが、一生懸命取り組んでいただくということで、図書館部の皆さんも学校などへの働きかけをやってくださっていると思います。今後も校長先生や学校に働きかけていただいて、学校数に換算すると少ないかなという気もするので、アピールしていただき、またこちらのほうでも、もっとみんな頑張ってもらってよということを書いていきたいなと思います。

新堀生涯学習センター図書館長　　実は今年、学校を訪問して、個別にお願いをしたという経緯はございました。ただ今年度はライバルが多く、プレ100周年記念事業ということで、各所管が感想文、感想画等、絵のコンクールにつきましても、個別に実施をしていたという状況がございました。そんなことで、応募者が分散する傾向にあったのかなというふうには考えているところでございます。学校数にもその影響が少しあらわれているかなと思ったところでございます。

安間教育長　　よろしゅうございますか。

せっくなので、ちょっと「読書感想画」・「読書感想文」各コンクールの実施結果とはちょっとずれてしまうかもしれませんが、今、学校にこのような絵画、感想文、作文、俳句だとか、そういうものを全部ひっくるめて、どれくらい依頼が来ているものなのですか。これは図書館部ではないのかな、指導課でしょうか。

斉藤統括指導主事　　例えば、国ですと川の写真や交通安全の作文、それから、障害者

週間のポスター、それから都では、児童虐待防止月間の強化防災ポスター、また、税務署等からの税に関する作文、それから市では、今回の読書感想文、感想画コンクールや保健所の薬物乱用防止ポスター、昨年に関しては、今、御紹介のあった市制100周年、作文・絵画コンクールなど、年間で80件以上もの募集があることを把握しております。ただ、そのほかにも地域の青少対の標語の募集や、町会、民間企業等からの依頼など、多数の募集があると考えられます。

安間教育長 1つの学校に80何件の依頼がきたら、80何個宿題に出すわけにいかないですよ。授業の中でやっていたら普通の授業が進まないですよ。これ、学校にとって負担なのではないですか、そういう声は聞こえていませんか。

斉藤統括指導主事 今、申し上げた全てに対応することは無理なのが現状です。学校といたしましては、学校の方針や教育効果、または地域との関係性などを考えて取捨選択して取り組んでいるというのが実情でございます。

安間教育長 学校とすると、防衛的にそういうことをしなければいけないのでしょうけれど、例えばこの資料にしても、ほかのこういうようなコンクールにしても、応募作品展が去年より増えましたとか、そういうことってどうしても1つの評価基準になってしまいますよね。何か今後はこういったことの整理、特に今年度は市制100周年だからいろんなことを市としても子どもたちの作品を募集してくるのでしようけれど、何か指導課として考えていることはありますか。

斉藤統括指導主事 今、申し上げたとおり、やはり児童・生徒の負担ということを考えていかなければいけないことと、それから、所管同士の連携というものをきちんと行った上で、学校に精査をかけて募集をかけていくことが必要だというふうに考えております。

安間教育長 そうですね、例えばこれは8月25日から9月30日にまでだから、要するに、実際に子どもたちが取り組む時間は夏休みを想定しているわけですね。だから、夏休み中に子どもたちにどんなものが来ているよということを一覧で学校に出してあげて、子どもたちが選択をしてどれに応募するのかを決めていくとか、そんな工夫もちょっと考えてみてください。

学校に対してこういうようなコンクールだとか何かの応募というのがあるときに、先ほど私が言ったみたいに、何点応募があって、去年よりも何校増えたというのを、

あまり基準に、それが一番わかりやすいんですけども、どうしてもそれをこうしてしまうと、子どもにとっても過剰と言いますか、現実的に不可能な数字を求めてしまうようなことになるのかもしれませんが。我々の所管がやるときには、一定数の基準だとかそういったものを持っていけば済むわけですが、外部の団体からの依頼であるとかそういったときに、そのことについてはちゃんと念を押して、どれぐらいいの数を見越して、それが多いの、少ないのという話ではありませんよと言うようなことは前もってお話ししておかなくてはいけないのではないかなという気がします。そういう意味では、川口図書館が上手く連携している事例があるそうなので、御紹介いただけませんか。

福田川口図書館長　　松枝小学校は川口図書館から歩いて数分のところにございます。数年前から実施しているのですが、年間計画、カリキュラムの中に図書館を1コマ授業実数の中に組み込んでいただいております、子どもたちが通っています。テーマも各学年にあった環境であったり、ハンディキャップを持っている方へのことだったり、それぞれ学年でテーマをいただきまして、それに基づいて図書館とコラボしながら授業の中で生かしてもらうということを実施しております。

それと、この本のコンクールにおきましても、感想文は2年生から6年生、1年生はまだ原稿用紙を使っていないので、絵の応募というような、学校ぐるみで図書館をバックアップしていただいて、また、図書館を活用していただいて子どもたちに還元しているという、地域性もあるのですがそういうモデルケースとして実施しているところがございます。

安間教育長　　いい取り組みだと思えますよ。我々がやることは、できる場所ではですが、地元密着型というか、そんな感じで連携した学校をつくって、そのカリキュラムにもちゃんと我々が関与して、そしてお願いできる場所はする。今のは、いい取り組みだと思えるので、1つの事例にさせていただいて、これからもこういったことはいっぱいあると思いますから、全体を見てバランスをとってまいりましょう。

柴田委員　　「読書のまち八王子」というスローガンがございますけれども、学校司書を全校に配置をするという取り組みも八王子市は行っておりますので、こういう読書感想文コンクールで学校司書がどういうふうに関わったのかとか、それから、学校図書館を訪れるお子さんが、ここでたくさん入賞されているのかなというふう

に思いながら見ていたのですけれども、例えば、中学校の部を見ますと、みなみ野中学校とか松木中学校というところからの生徒が複数入賞されています。全部で21校から応募があったということですが、こういうふうに1つの学校から複数入賞されているということは、その学校が読書感想文の指導というんですか、その文章力のあるお子さんが育てているのかなということも想像しながら資料を拝見していました。

やはり文章力や、自分の考えをこれから表現していくという自己表現能力ということが教育の中では特に問われていくことだと思いますので、学校司書と連携した形での、コンクールで入賞するためというのではないのですが、そういった文章力というものを鍛えていくような教育の仕組みができていけばいいなというふうに感じております。以上です。

安間教育長 ありがとうございます。ほかに何か御質疑はございますか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、報告として承らせていただきます。

確か昨年の4月に台湾の高雄市に行った報告が、今年もされるんだろうと思うのですが、去年いただいた宿題があると思いますから、その報告の仕方について忘れないように議事録確認いただいて、御準備をよろしくお願いします。

これで公開の審議は終わりますが、委員の方から何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 先ほどの、教育支援課からの報告については、調べておりますので、定例会終了後に委員の方々にはお伝えしたいというふうに思います。

それでは、ここで暫時休憩をいたします。なお、休憩後は非公開となりますので傍聴の方は退席をお願いいたします。

再開は、10時15分をお願いいたします。

〔午前10時02分休憩〕